

Citation 4

(19)日本国特許庁(J P)

(12) 公開実用新案公報 (U)

(11)実用新案出願公開番号

実開平6-60866

(43)公開日 平成6年(1994)8月23日

(51)Int.Cl. ⁸	識別記号	庁内整理番号	F I	技術表示箇所
G 0 9 F 3/00		D 7028-5G		
B 4 2 D 15/00	3 7 1	8604-2C		
G 0 9 F 3/02		M 7028-5G		
3/10		H 7028-5G		

審査請求 未請求 請求項の数1 F D (全 2 頁)

(21)出願番号 実願平5-6629

(22)出願日 平成5年(1993)1月30日

(71)出願人 000110217

トッパン・ムーア株式会社

東京都千代田区神田駿河台1丁目6番地

(72)考案者 菅原 秀仁

東京都世田谷区桜2丁目8番5号

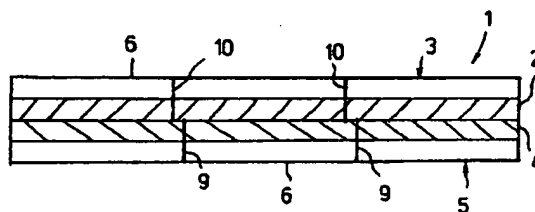
(74)代理人 弁理士 秋元 輝雄

(54)【考案の名称】 ラベル用シート

(57)【要約】

【目的】表裏両面にラベルを備えるラベル用シートにおいて、区画部を折れ曲がりにくくするとともに、ラベル片の捲り上がりが不用意に生じないようにして、ラベル用シートの取り扱いを容易とするとともに、プリンタなどの機器に装填したときのフィードの安定性を高める。

【構成】ラベル3、5それぞれに、該ラベル3、5を複数のラベル片6に区画する区画部7を設ける。そしてこの区画部7を、ミシン目および／または切り込みにより形成し、異種の区画部7を表裏で相対させた。



1

2

【実用新案登録請求の範囲】

【請求項1】 ラベルを表裏両面に備え、ラベルそれぞれが剥離可能に対向配置されているラベル用シートであって、

前記ラベルそれぞれには、該ラベルを複数のラベル片に区画する区画部が設けられ、該区画部は、ミシン目および／または切り込みにより形成され、異種の区画部が表裏で相対していることを特徴とするラベル用シート。

【図面の簡単な説明】

【図1】 本考案に係るラベル用シートの一実施例における一方のラベル面を示す説明図である。

【図2】 同じく一実施例における他方のラベル面を示す説明図である。

【図3】 同じく一実施例を断面にて説明する説明図である。

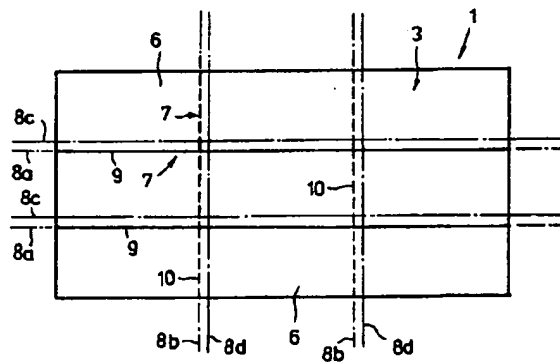
【図4】 他の一実施例を断面にて示す説明図である。

【図5】 同じく他の一実施例を断面にて示す説明図である。

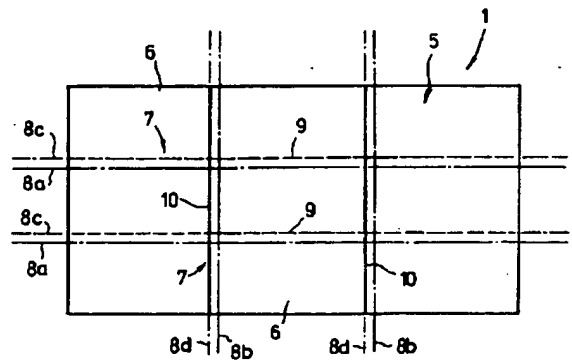
【符号の説明】

- 1…ラベル用シート
- 3, 5…ラベル
- 6…ラベル片
- 7…区画部
- 8a, 8b, 8c, 8d…区画線
- 9…切り込み
- 10…ミシン目

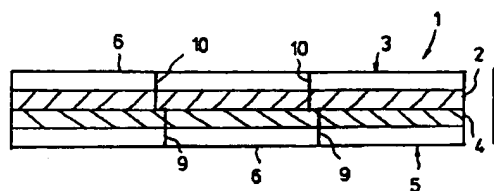
【図1】



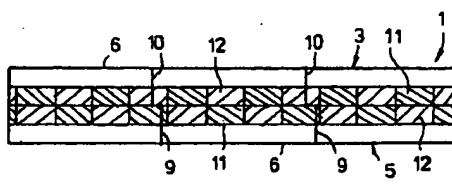
【図2】



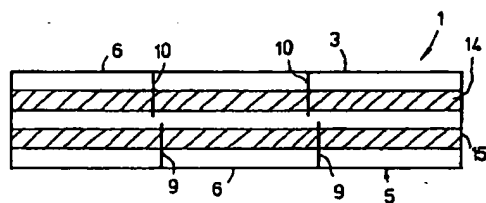
【図3】



【図4】



【図5】



【考案の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】

本考案は、ラベル用シートに関するものであり、特に一對のラベルが剥離可能に重ね合わされているラベル用シートに関するものである。

【0002】

【従来の技術】

従来、ラベル用シートは、片面に複数のラベル片を設けたものが一般的であり、その各ラベル片に住所などの個人情報やバーコードなどの管理情報を記載、またプリンタで印字、印刷し、これらラベル片を封書な商品などに貼り付けるなどの目的で使用されている。

【0003】

また、装填された用紙に対してその表裏両面に印字可能な両面プリンタがあり、この両面プリンタを利用して情報印字されたラベル片が表裏に得られるように、両面に剥離処理を施した剥離紙のその表裏両面にラベルを貼り合わせ、そのラベルそれぞれを複数のラベル片に区画する構成としたラベル用シートがある。

【0004】

【考案が解決しようとする課題】

しかしながら、上記したところの複数のラベル片に区画されているラベルを表裏に配置したラベル用シートにおいては、ラベルをラベル片に区画する区画部が切り込み（剥離紙に達する切り込み）によってなるものであることから、その切り込みが表裏で相対する部分、すなわち各区画部で折れ曲がり易いシートとなっている。

このように区画部で折れ曲がり易いラベル用シートを上述したようなプリンタなどの機器に装填して印字、印刷処理を行おうとした場合、取り扱いに注意を要するばかりか、そのラベル用シートが折れ曲がり易いため、フィードの安定性が極めて低く、機器内部にてシート詰まりを発生させ易いものであった。また、切り込みにより区画であるため、前記の折れ曲がりによりラベル片の角部などが不用意に捲り上がり易く、これによって前記機器内部での詰まりを生じさせたり、

印字、印刷後であっても、ラベル片の不用意な剥がれが生じ易いものとなっていた。

【0005】

そこで本考案は上記した事情に鑑みて、表裏両面にラベルを備えるラベル用シートにおいて、区画部を折れ曲がりにくくするとともに、ラベル片の捲り上がりが不用意に生じないようにすることを課題とし、ラベル用シートの取り扱いを容易とするとともに、プリンタなどの機器に装填したときのフィードの安定性を高めることを目的とする。

【0006】

【課題を解決するための手段】

本考案は上記した課題を考慮してなされたもので、ラベルを表裏両面に備え、ラベルそれぞれが剥離可能に対向配置されているラベル用シートであって、前記ラベルそれぞれには、該ラベルを複数のラベル片に区画する区画部が設けられ、該区画部は、ミシン目および／または切り込みにより形成され、異種の区画部が表裏で相対していることを特徴とするラベル用シートを提供して、上記した課題を解消するものである。

【0007】

【作用】

本考案においては、ラベルを区画する区画部がミシン目および／または切り込みにより形成され、表裏で異種のものが対向していることから、区画部での剛性が高くなってその区画部からの折れ曲がりが生じ難くなる。

【0008】

【実施例】

つぎに本考案を図1から図5に示す実施例に基づいて詳細に説明する。

図中1はラベル用シートであって、該ラベル用シート1は、図3に示すように、再剥離型の感圧接着剤を塗布してなる接着層2を有するラベル3と、前記接着層2に対して剥離性がある再剥離型の感圧接着剤を塗布してなる接着層4を有するラベル5とを、前記接着層2、4を合わせるようにして剥離可能に貼り合わせたものである。そしてこのラベル用シート1におけるラベル3、5には、図1と

図2に示すように、このラベル3(5)を複数のほぼ同形状のラベル片6に区画する格子状の区画部7が設けられていて、ラベル片6それぞれが分離可能となっている。区画部7の上下左右に亘る各区画線8a、8b、8c、8dは表裏においてわずかに偏倚しており、表裏の区画部7はぴったりとは重ならない状態で対向している。

【0009】

そして、図1に示すようにラベル用シート1の一方のラベル3に設けられている区画部7は、シート1の一方方向に沿う区画線8aの部分が切り込み9であり、他方向に沿う区画線8bの部分がミシン目10となっている。また、ラベル5に設けられている区画部7は、区画線8cの部分がミシン目10であり、他方向に沿う区画線8dの部分が切り込み9となっている。このようにシート1の表裏で対向する区画部7は、区画線部分で同種のものが相対せず、異種のものが相対するように設けられている。

このように同種のものが相対しないようにして表裏の区画部7が設けられているため、区画部7での剛性が高くなってこの区画部7からの折れ曲がりが生じず、区画形成されたラベル片6も不用意には剥離しないようになる。

【0010】

上記した実施例は、ラベル3、5の接着層2、4を直接貼り合わせたものとなっているが、本考案はこれに限定されるものではない。図4はその一例を示すもので、この例におけるラベル用シート1にあっては、ラベル3、5の対向面それぞれに、接着部11と剥離部12とを交互にし、且つ対向面相互間で接着部11と剥離部12とが対向するように複数配列して、ラベル3、5を剥離可能に貼り合わせたものである。そして、この実施例においても上記実施例と同様にしてラベル3、5に区画部7が設けられている。

【0011】

また、図5は他の実施例を示しており、この例のラベル用シート1にあっては、両面に剥離処理を施した剥離紙13を間にして、裏面に接着層14を設けたラベル3と裏面に接着層15を設けたラベル5とを対向配置したものである。そしてこの実施例においても上記の実施例と同様にしてラベル3、5に区画部7が設

けられている。

【0012】

なお、両ラベルに設ける区画部は上記実施例では切り込みとミシン目との組み合わせとして形成されているが、一方のラベルの区画部を切り込みにて形成し、他方のラベルの区画部をミシン目で形成する構造も採用できる。また、表裏の区画線を僅かにズラした例を示したが、本考案はこれに限定されず表裏の区画線が一致するようにして区画部を形成するようにしてもよい。

【0013】

【考案の効果】

以上説明したように、本考案によれば、ラベル用シートは、ラベルを表裏両面に備え、ラベルそれぞれが剥離可能に対向配置されているものであって、前記ラベルそれぞれには、該ラベルを複数のラベル片に区画する区画部が設けられ、該区画部は、ミシン目および／または切り込みにより形成され、異種の区画部が表裏で相対していることを特徴とするものであることから、区画部での剛性が高まってこの区画部からの折れ曲がりが生じ難くなり、このラベル用シートの取り扱いが頗る簡単になるとともに、ラベル片の不用意な捲り上がりが生じなくなる。そして、両面プリンタなどの機器に装填した場合のフィードに安定性が増し、各ラベル片に適性に印字、印刷が行えるようになり、機器内での詰まりも生じさせないなど、実用性に優れた効果を奏するものである。